

令和6年10月16日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

サイエンスカンファレンス2024 受賞者を決定

JST（理事長 橋本 和仁）は、サイエンスカンファレンス2024を10月12日（土）から10月14日（月）までの日程で開催し、文部科学大臣賞などの各賞受賞者を決定しました。

次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLAプログラム）は、グローバルサイエンスキャンパス（主に高校生が対象、平成26年度開始）とジュニアドクター育成塾（小中学生が対象、平成29年度開始）を発展的に統合し、科学技術・イノベーションをけん引する次世代の傑出した人材を育成するため、初等中等教育段階（小学校高学年～高校生）において理数系に優れた意欲・能力を持つ児童生徒を対象に、その能力などのさらなる伸長を図る多様な育成プログラムの開発や実施を支援しています。

サイエンスカンファレンス2024は、グローバルサイエンスキャンパス、ジュニアドクター育成塾、次世代科学技術チャレンジプログラムの実施機関および支援終了機関の取り組みに参加する受講生に研さん・活躍の場を提供することを目的として開催する成果発表会です。

本発表会では、全国各地の実施機関から代表として選ばれた受講生が、日頃の探究活動の成果を発表しました。探究活動の目的や意義、将来性や発展性などの観点に基づいて審査を行った結果、「高校の部」において文部科学大臣賞、科学技術振興機構理事長賞、審査委員長特別賞、優秀賞、「小中の部」において研究発表大賞などの各賞受賞者が選ばれました（別紙）。

事業概要およびサイエンスカンファレンス2024の詳細は下記ホームページをご参照ください。

URL：<https://www.jst.go.jp/cpse/stella/>

<添付資料>

別紙：サイエンスカンファレンス2024受賞者一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 理数学習推進部 能力伸長グループ
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル
菅野 智さと（カンノ チサト）
Tel：048-226-5669
E-mail：[stella\[at\]jst.go.jp](mailto:stella[at]jst.go.jp)

＜科学を支え、未来へつなぐ＞

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

サイエンスカンファレンス2024受賞者一覧
「高校の部」

※以下、実施機関、発表者、学校名、学年、発表テーマの順

■文部科学大臣賞（1件）

神戸大学（共同機関：兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学）

木原 白桃 マリスト国際学校 3年

「競技かるた選手を対象にした共感覚の後天的獲得可能性の検討」

■科学技術振興機構理事長賞（1件）

大阪大学

浅井 優作 兵庫県立宝塚北高等学校 2年

「Liouville型超越数の近似分数列及び随伴する単位分数分解」

■審査委員長特別賞（2件）

大阪大学

宮本 颯磨 兵庫県立洲本高等学校 2年

「物質代謝モデルを用いた南あわじ市の農業部門の温室効果ガス排出削減対策評価」

名古屋大学

山本 侑理湖 愛知県立岡崎高等学校 2年

齊藤 すみれ 静岡県立沼津東高等学校 2年

「0.1寸の虫にもある複雑なリアルタイムの行動制御

～キイロショウジョウバエからひも解く昆虫における聴覚フィードバックの存在～」

■優秀賞（7件）

大阪大学

杉山 心咲 兵庫県立星陵高等学校 2年

「食品加工副産物を利用したユーグレナ・バイオマスの生産」

静岡大学

大迫 悠暉 静岡県立清水東高等学校 2年

「疑似濃淡電池の反応機構の解明」

名古屋大学

日根野 陽光 東海高等学校 3年

村上 清英 岐阜県立多治見北高等学校 3年

「超高効率な多接合型太陽電池に向けた最先端半導体材料の研究」

静岡大学

高津 圭梧 静岡県立静岡高等学校 2年

「瀬戸川帯の付加体中に産する鉄丸石の微細構造観察」

千葉大学

松岡 初奈 東京都立小石川中等教育学校 5年

「近代日本の音楽変遷における社会的影響の探究」

慶應義塾大学（共同機関：熊本大学、東京薬科大学）

君和田 大輝 慶應義塾湘南藤沢高等部 3年

「深層学習を用いた *de novo* PETase の設計」

神戸大学（共同機関：兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学）

竹内 理紗 鳥取県立鳥取西高等学校 3年

「意味デコーディングによる心像の脳解読」

<文部科学大臣賞受賞者コメント>

木原 白桃（キハラ モモ）さん（マリスト国際学校 3年）

発表テーマ「競技かるた選手を対象にした共感覚の後天的獲得可能性の検討」

「今回、文部科学大臣賞と受講生投票賞を受賞することができ、大変光栄です。この文部科学大臣賞は本当に欲しかった賞だったので、中学3年生の時から約4年間、青春を捧げた甲斐がありました。このような機会を用意して下さった皆様、審査員の皆様、サポートして下さった皆様に感謝申し上げます。」

<大路 樹生 審査委員長コメント>

「今回発表会で受賞された方々の研究はレベルの高い素晴らしいものでしたが、惜しくもそれに漏れた研究発表も皆優れたものでした。受講生同士が互いの研究を知り、交流できたことも有益だったことでしょう。受講生が研究の面白さに触れることができ、将来どのような道に進む場合もその経験が大いに役立つことと期待しています。」

サイエンスカンファレンス2024受賞者一覧
「小中の部」

※以下、実施機関、発表者、学年、発表テーマの順

■研究発表大賞（11件）

東京大学

千葉 瑛瑠 中学3年

「熱パイプオルガンの研究（Ⅲ）」

福井大学

藤田 知 小学5年

「ウイルス感染シミュレーション」

山梨大学

岩間 隆 小学6年

「身近な熱源を活用したペルチェ素子による温度差発電の検証」

静岡大学

市川 迅 中学3年

「カラスウリの花～どのような仕組みで開閉しているのか？～」

静岡大学

堀池 哲平 中学3年

「代替プラスチックの研究～スキムミルクと酢を用いた固形物の作成と特性について～」

三重大学

森下 泰成 中学2年

「トゲナナフシの食性の違いが成長・発育に与える影響について」

大阪大学

村尾 瑠音 中学1年

「視聴速度と年齢との間に関係はあるか？」

神戸大学

辻生 陽樹汰 小学6年

「水中の小さな生態について考える 淡水プランクトンの新たな多様性」

長崎大学

山部 才太 中学2年

「磁石の中心と端の強さはどちらがどれくらい強いのか、その理由」

沖縄工業高等専門学校

田中 華深 中学3年

「ピアノの音色に対する嫌悪感の要因」

沖縄工業高等専門学校

渡邊 智也 中学3年

「ヒメトビサシガメの水辺への適応における収斂（しゅうれん）進化」